

2022年度 事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

東京オペラシティコンサートホール、リサイタルホール及び東京オペラシティアートギャラリーにおいて、主催音楽事業、主催美術事業、貸しホール事業及び文化施設管理事業を次のとおり実施した。

I. 公益目的事業について

1. 主催事業／音楽

主催公演 36 公演、共催公演 10 公演の計 46 公演を実施。

主催公演	コンサートホール	11 公演
	リサイタルホール	11 公演
	無料公演 (ヴァイジュアル・オルガコンサート、音楽の「たまたま箱」、避難訓練コンサート)	12 公演
	B→C 地方公演 (高松・福岡)	2 公演
共催公演	コンサートホール・リサイタルホール	10 公演

2. 顕彰事業及び作曲賞

初代芸術監督であった武満徹氏の「大いなる期待を感じさせる独創的な主張を持った作品が生み出されることを願う」との意思に鑑み、武満徹作曲賞（作曲コンクール・顕彰事業）を毎年行っている。2022年度は、作曲家ブライアン・ファーニホウ氏を審査員に、同時代音楽企画『コンポージアム』の一環として、5月29日に「武満徹作曲賞本選演奏会」を開催した。ファーニホウ氏は新型コロナウイルス感染拡大の影響と自身の体調への懸念から来日が叶わず、高音質・高画質の通信を用い当日の本選演奏をアメリカで聴き、審査を行った。受賞者は以下のとおり。

- 第1位 室元拓人（日本）
- 第2位 アンドレア・マッテヴィ（イタリア）
- 第3位 オマール・エルナンデス・ラソ（メキシコ）
- 同 メフメット・オズカン（トルコ／ブルガリア）

3. 主催事業・美術

アートギャラリーにて、4回の企画展を実施した。

企画展・収蔵品展・project N

会 期	2022年4月16日から 6月22日 (59日間)	2022年7月16日から 9月19日 (56日間)	2022年10月8日から 12月18日 (62日間)	2023年1月18日から 3月26日 (58日間)
企 画 展	篠田桃紅展	ライアン・ガンダー展	川内倫子展	泉太郎展
収 蔵 品 展	1960～80年代の抽象	ライアン・ガンダーが選ぶ 収蔵品展	連作版画の魅力	彫刻家の素描・版画
project N	諏訪未知	黒坂祐	墓原蓉子	川人綾

4. 助成等

音楽事業について、「コンポージアム 2022」に対し独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人ロームミュージックファンデーションより 750 万円の助成を受けた。

また、文化庁より「コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業」補助金として音楽・美術の各事業へ 1,000 万円の交付を受けた。

5. 寄附金等

実績なし。

II. 収益事業会計

コンサートホール、アートギャラリー等の文化施設オーナーから受託した事業は、次のとおりである。

1. 貸しホール事業

(1) コン서트ホール

公演件数は 264 件（一般貸し公演 232 件、主催・共催公演 31 件）となり、前年度比+32 件の増加（*+6.1%）、新型コロナウイルス感染症の影響のなかった 2019 年度の 276 件に迫る水準まで回復した。貸公演数に関しては、上半期実績が前年度と同水準であったのに対し、下半期に貸出件数が進展しており、2023 年度の更なる件数回復が期待できる。

*2021 年 4 月期の休館影響を除く

(2) リサイタルホール

公演件数は 208 件（一般貸し公演 196 件、主催・共催公演 12 件）となり、前年度比+14 件の増加(+7.2%)となった。コンサートホールに比べ、国内演奏家を中心とした公演が大多数を占めることから新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくく、安定的に貸公演数を積上げることができた。

なお、東京フィルハーモニー交響楽団のリハーサル利用（80 件）と合わせた件数では 288 件となり、前年度比+20 件の増加(+7.5%)となった。

2. 文化施設管理事業

コンサートホール（CH）、リサイタルホール（RH）ともに開館 25 年目、アートギャラリー（AG）については 23 年目を迎え、施設の基本である躯体・内装・電気設備・空調設備・衛生設備・弱電等に経年劣化による故障・不具合が発生し、その都度修理対応している。

今年度は中長期計画に基づき順次設備更新を進め、CH 高天井アップライト他更新、RH 椅子布・ウレタン材交換、C 棟ワイヤレスマイク設備更新（法改正対応含む）を行った。

また、2023～2024 年度更新予定の ITV 設備更新基本計画策定、開館 30 周年に向けて更新予定である空調設備更新についての基本計画策定、予てからの課題である RH・AG の特定天井落下対策工事について、音響や展示状況を加味した追加検討を実施した。

これらと併せて、年間計画による設備保守・工事とも予定通りに行い、施設管理事業を安全かつ円滑に遂行した。

2022 年度の主な取り組みは以下の通りである。

1. C 棟 CH 高天井アップライト他更新
2. C 棟 RH 椅子布・ウレタン材交換
3. C 棟 ワイヤレスマイク設備更新
4. C 棟 A・C 棟 I T V 設備更新基本計画
5. C 棟 空調設備更新基本計画
6. A 棟 AG 空調設備更新基本計画
7. C 棟・A 棟 RH・AG 特定天井安全対策に係る音響等追加検討業務

2022年度事業報告 附属明細書

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2023年6月
公益財団法人 東京オペラシティ文化財団